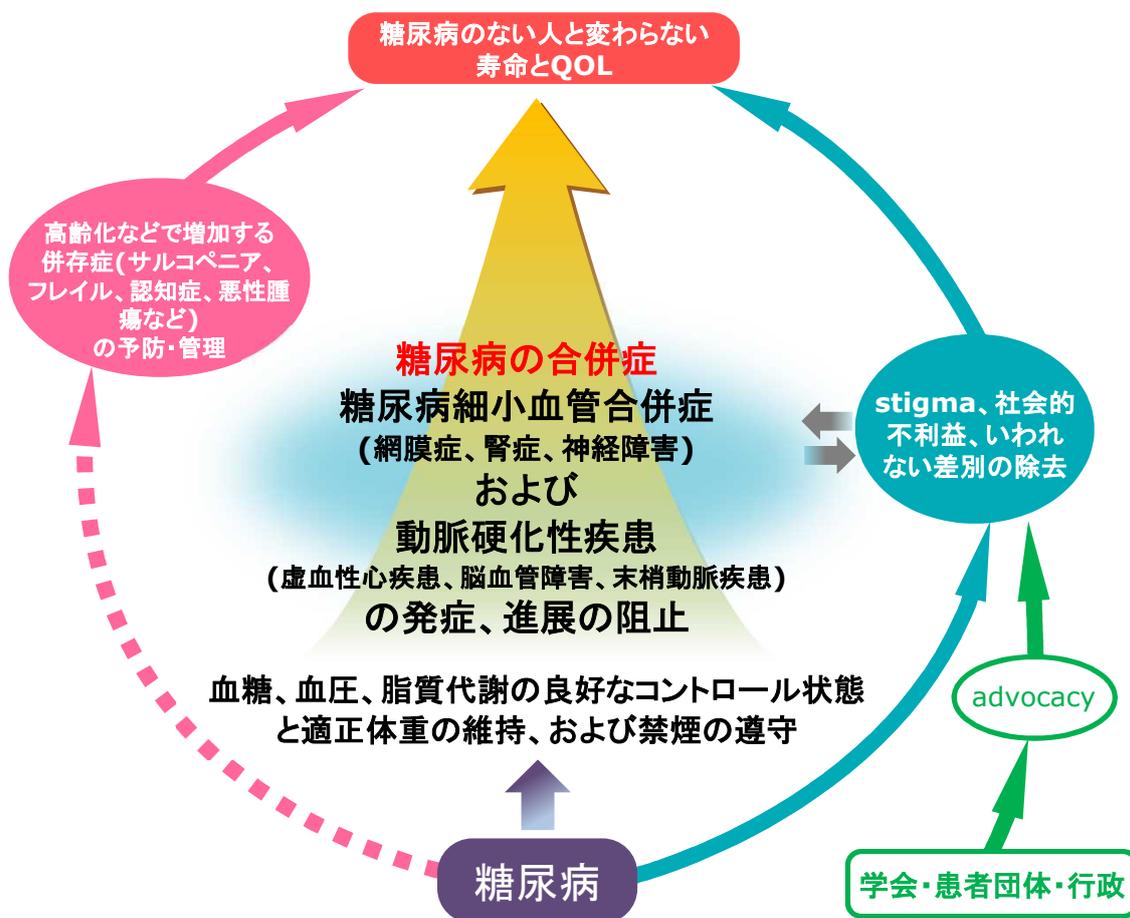


第29号 生活習慣病センターだより

～糖尿病治療の目標～

2022年8月発行

今回は「糖尿病治療の目標」について紹介したいと思います。糖尿病は何のために治療するのでしょうか？血糖とかHbA1cとか、数字に気をとられがちになりますが、糖尿病治療の目標は、これらの数字を基準範囲内に収めることではありません。糖尿病治療の究極の目標は、**糖尿病がない人と同じように人間らしく生きて天寿を全うすること**、です。かなりスケールの大きな目標なのです。



図は日本糖尿病学会が提唱している「糖尿病治療の目標」の最新版です。中心にあるのは、**合併症を予防すること**で生活の質や寿命を確保しよう、という流れです。以前から糖尿病治療の目標、とされていたものです。昨年改訂された治療目標では、さらに周りにサークルができ、**QOLをより意識したもの**になっています。寿命を延ばすことだけが目標ではなく、質が重要、ということです。左からは、高齢化社会において、食事制限や血糖低下が行き過ぎてサルコペニア（骨格筋量低下）や認知症を増やせばQOLを損なう、という注意喚起が、右からは、糖尿病患者さんに対する社会のスティグマ（負の烙印）、差別偏見、などもなくしないとQOLを損なう、といった注意喚起が追加されています。血糖値やHbA1cなどの数字は目標達成のごく一部、低ければいいわけでもなく年齢によっても状況によっても違います。数字だけではなく広い視野を持って、個々の患者さんに適した目標を設定して対応していきましょう！